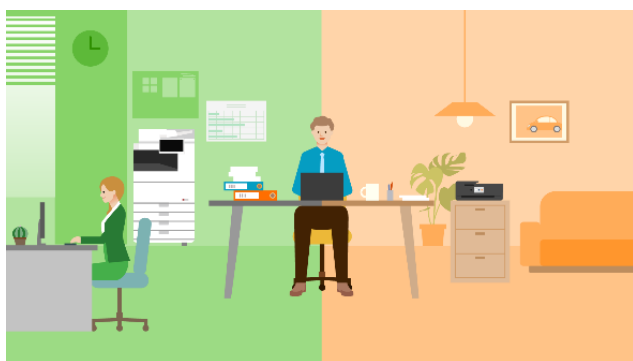
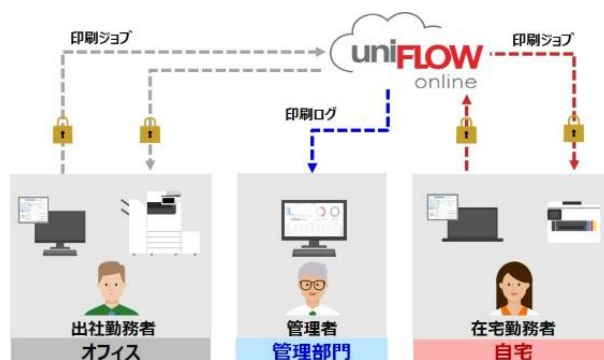


### オフィス複合機と家庭用インクジェットプリンターに対応したクラウド印刷サービスを開始 オフィス同等の高いセキュリティ環境と管理機能により在宅勤務時の印刷課題を解決

キヤノンは、在宅勤務でもオフィス同等の高いセキュリティ環境と管理機能を提供する新クラウド印刷サービス“Hybrid Work Print”シリーズの第一弾として、オフィス向け複合機や家庭用インクジェットプリンターでの印刷に対応した“Hybrid Work Print Standard”を2022年9月20日に発売します。



ハイブリッドワーク（イメージ）



“Hybrid Work Print Standard”基本構成図

在宅勤務とオフィス出社を併用するハイブリッドワークが浸透し、自宅においてもオフィス同様の生産性や利便性が求められています。一方で、情報セキュリティへの不安や、在宅勤務での印刷状況管理の難しさから、自宅での業務印刷が認められないケースも多く存在しています。“Hybrid Work Print Standard”は、キヤノンのオフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE シリーズ」のクラウド型 MFP 機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」を介して、オフィスから家庭用までキヤノンの幅広いプリンターを利用した自宅での業務印刷を可能にします。在宅勤務での業務印刷をオフィスと同等のセキュリティを確保した環境で実現するとともに、在宅勤務とオフィス出社を合わせた印刷状況を可視化し、ハイブリッドワークにおける生産性や利便性の向上を支援します。

#### 1. クラウド経由で高いセキュリティを確保した在宅印刷を印刷ログの収集・管理機能とともに実現

印刷データは全て暗号化されるため、自宅での印刷もオフィスと同等のセキュリティが維持されます。印刷枚数やファイル名をユーザーごとにログとして収集し管理する機能や、CSV ファイルに出力する機能も搭載されており、印刷物による万が一の情報漏えいリスクに備えるだけでなく、自宅での業務印刷に伴う費用精算などにも活用できます。また、印刷時にプリンター本体でのパスワード入力を求める設定も可能で、取り忘れなどによって第三者に印刷物を見られたり持ち去られたりするリスクも軽減できます。

#### 2. ユーザーのニーズに合わせた幅広いプリンティング機器に対応

“Hybrid Work Print Standard”は、オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE DX」シリーズ、インクジェットプリンター「PIXUS/G/GX」シリーズ、レーザープリンター「Satera」シリーズに対応<sup>※1</sup>しています。キヤノンの幅広いプリンティング機器を活用しながら、在宅勤務とオフィス出社を合わせた企業全体の印刷状況の一元管理が可能<sup>※2</sup>です。なお、在宅勤務で使用するキヤノンプリンターに特化して、在宅印刷・管理を可能にするサービス“Hybrid Work Print Simple”を2023年中に提供開始予定です。

※1. 対応機種はホームページをご覧ください。

※2. ご利用には「uniFLOW Online」の初回契約およびオフィス複合機のライセンスが1台以上必要です。ご利用条件詳細はホームページをご覧ください。

サービス名	発売日
Hybrid Work Print Standard	2022年9月20日

〈Hybrid Work Print Standard 構成ライセンス〉

uniFLOW Online Cloud Link Print Connection（インクジェットプリンター向け）	月額 7,000 円／25 台～
uniFLOW Online Cloud Print & Scan（オフィス複合機向け）	月額 2,900 円／台
uniFLOW Online Cloud Print（レーザープリンター向け）	月額 1,500 円／台

- 
- 一般の方のお問い合わせ先   ：キヤノンお客様相談センター   0570-08-0056
  - uniFLOW Online ホームページ   ：[canon.jp/uniflow-online](https://canon.jp/uniflow-online)

## 〈Hybrid Work Print Standard の主な特長〉

### 1. クラウド経由で高いセキュリティを確保した在宅印刷を印刷ログの収集・管理機能とともに実現

- 堅固なセキュリティを有する「Microsoft Azure」※1 上に構築されたクラウド型 MFP 機能拡張プラットフォーム「uniFLOW Online」※2 を介して、全ての印刷データが暗号化されるため、在宅勤務での印刷もオフィス同等の安全な環境を確保。
- 日時、ユーザー名、ファイル名、ページ数、カラー／モノクロなどの印刷情報をログとして収集でき、CSV ファイルへの出力も可能。
- 在宅勤務時の機密文書や印刷禁止文書の印刷抑止効果をもたらすと同時に、万が一印刷物からの情報漏えいが起きた場合、印刷ログから履歴の追跡が可能。
- 印刷ログは、印刷状況の管理や消耗品の費用精算に活用可能。
- プリンター本体の操作パネルで指示をしない限り印刷を開始しない、留め置き印刷に対応。出力時、パスワード入力を強制する設定も可能。

※1. 「Microsoft Azure」のセキュリティについてはこちらをご覧ください。

Microsoft Azure ホームページ：<https://azure.microsoft.com/ja-jp/explore/trusted-cloud/>

※2. 「uniFLOW Online」のセキュリティについてはこちらをご覧ください。

uniFLOW ホームページ：（日本語）<https://cweb.canon.jp/software/document/lineup/uniflow-online/features-security.html>

（英語）<https://www.uniflowonline.com/en/trust-center/>

### 2. ユーザーのニーズに合わせた幅広いプリンティング機器に対応

- オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE DX」シリーズ、インクジェットプリンター「PIXUS／G／GX」シリーズ、およびレーザープリンター「Satera」シリーズに対応。



imageRUNNER ADVANCE DX シリーズ



PIXUS／G／GX シリーズ



Satera シリーズ

- 在宅勤務で使用するキャノンプリンターに特化して、在宅印刷・管理を可能にするサービス“Hybrid Work Print Simple”を2023 年中に提供開始予定。

## 〈“Hybrid Work Print Standard”基本構成〉

- 在宅印刷用プリンタードライバーを PC にインストールして使用。
- 印刷ジョブは「uniFLOW Online」を介して自宅に設置されたプリンターに送信。
- 印刷データは全て暗号化。

## 〈ハイブリッドワークの市場動向〉

新型コロナウイルス感染症拡大への対応として、日本企業におけるテレワーク導入は急速に進んでいます。総務省の「令和3年通信利用動向調査」によると、テレワークを導入している企業の割合は51.9%と半数を超え、その形態として9割以上の企業が在宅勤務を導入しています。テレワークや在宅勤務にはメリットがある一方、セキュリティ対策やコミュニケーションの面で課題も多く、企業は従業員一人ひとりの状況に応じた柔軟な働き方を支援することが求められています。在宅勤務とオフィス出社をバランスよく取り入れたハイブリッドワークは、新しいワークスタイルとして注目されています。（キャノン調べ）